

高木克己先生退職記念論集の刊行に寄せて

経営学部長 中村公一

高木克己教授は、今年度をもって定年を迎えられ、ご退職されることとなりました。本学部での長年の多大なる貢献に対して、厚く御礼申し上げます。

高木先生は西南学院大学大学院経営学研究科博士後期課程で学ばれたのち、1986年4月より本学部に講師として着任されました。オフバランス取引の会計と税務、法人税法にかかわる諸課題という企業活動における税務に関して研究を進められてきました。

学部の授業では税務会計論を中心とした簿記学や会計学など会計学教育にご尽力されました。大学院においては租税法特講をご担当され、税理士などの専門職を目指す大学院生に対する教育の中心的役割を担われました。毎年、修士課程の院生のみならず、博士後期課程の院生も在籍し、その後に本学部の非常勤講師をご依頼している修了生もおります。

本学部の運営においては、1999年4月～2001年3月、2008年4月～2009年3月には、第二部経営学科主任をご担当し、2013年4月～2015年3月には大学院経営学研究科委員長を歴任されました。

ちょうど先生の最初の学科主任の時に私の採用面接がありました。とても緊張しておりましたが、先生からは優しい語り口調で質問を頂いて、安心したことを今でも覚えております。また、いつも笑顔でおられ、当時の若い私にも話しやすい雰囲気を作って下さり、諸所でいろいろとアドバイスを頂いたこともありました。

最後になりますが、本学部における先生の長年のご尽力に対し、学部一同、心より感謝申し上げます。今後の先生のご健康を祈念致しますとともに、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。